



発行所
福井県大野郡
和泉村

(昭和42年8月1日現在)

村の人口	
出生	2人
死亡	0人
入出	46人
転入	48人
転出	3,803人
総人口	2,011人
男	1,792人
女	219人
世帯数	1.148世帯

村の面積
332.26平方km

今月の目標

- 今年も台風のシーズンとなりました。
1. 毎年の経験を生かして被害を最少限度にくい止めましょう。
 1. お互に協力して気の毒な人の出ない様に助け合ひましょう。
 1. 台風情報に注意し充分な準備をしておきましょう。

福井県へき地複式学級教員

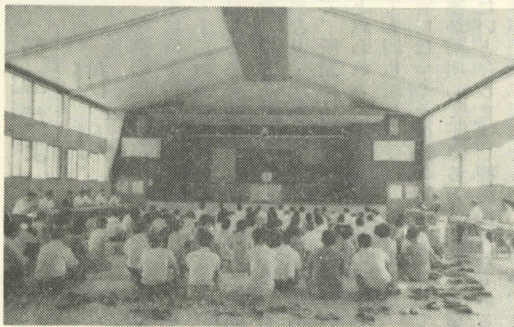
夏期研修会開かれる

県内のへき地複式学校に教鞭をとる先生方の研修会が和泉村の教育センターと、朝日中学校を会場として八月八日、九日、十日の三日間にわたって開催されました。村外からの参加者が七十名を予想されましたので、昨年の第十四回へき地大会と同じく、朝日区と川合区の区長さんに民泊のご無理をお願いし、御快諾をいただき開幕できましたことを村御当局並びに関係地元村民の方、特に民泊の労を煩わしました。

方々の御厚意に深くお礼申し上げます

第一日 八月八日(火) 開講式
橋本県教育長並びに和泉村教委の挨拶
和泉村宇野助役並びに宇野議長、山本教育委員長の祝辞があり、へき地複式教育問題協議会において、へき地教育関係の諸問題が討議され、県教委の指導のもとに、それぞれ意見交換が行なわれ明るい見通しのうちに効果的に終りました。

続いて研究発表の討議がなされ、夕食後一瀬指導課長の講演を聞いて第一日を終りました。第二日は下山小学校後



朝日中学校での夏期研修会風景

北陸三県消防操法大会に活躍

和泉村消防団第四分団

北陸三県消防操法大会は、八月八日午後一時から富山市五福、県営競技場において行なわれた。

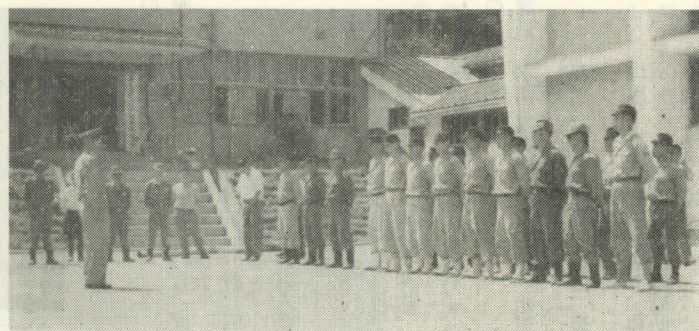
炎天下のもとに福井県代表として参加した第四分団は、わずかの差において優勝の栄誉を勝ち得ることが出来なかつたが、日頃のチームワークと消防精神を十分に発揮し、県代表としての面目躍如たるものがあつた。ちなみに日の操法要員は次の通りである。

- 指揮者 山出 富蔵
登久 男
長岡 昇一
谷口 政幸
三坂 保司
坂安 四郎

和泉村再建方策審議会(前承) 角野スキー場

角野スキー場

流れ汲みて源を知る



壮行会の模様 (大納中学校庭にて)

イ 巖洞谷附近を今冬(四一年冬)スキー可能なように地拵をする。こゝを正規の大スキー場に開発する予定で地元との用地交渉を適正に進めておく。

ハ スキー場の夏期利用は採算に大きく影響する。夏・冬の合理的な経営にいて類似地区を視察検討しておく。

観光特産物(主として土産用品の研究)

報告書(註、学者の観光診断報告書のことを指す——以下全じ)二三頁に示されたもの(干わらびわらび漬・穴馬味噌(トチ・クリの味)・ウド・フキワサビ・竹の子・しいたけ等山菜加工品・川魚の漬物・クンセイ・干物など保存加工・ソバ・トチ・クルミ・クリの菓子・ぶどう酒・木材・藁・竹の加工玩具等々……)を全面的に取入れ初期期間中は村から助成して研究を奨励し、還元収益の高いものを残して永續生産とする。

2 二・五ヶ年計画とすべき諸問題

泉源

目下のところ基礎資料不十分につき全面的に「わかし湯」に方針転換を行ない、その経営については既設経営地を視察し万全を期す。

朝日附近 駅前広場については、四三年までに報告書二六頁a)g)までの項目実施を目標に区画整理を行ない、四五年までに私営、公営の区分を明にする。例えば村営 観光案内所・物産物展示場・噴水記念館

私営 休憩所

川合・朝日地区

前田建設事務所敷地内の観光センター用地の接渉は四二年末までに完了し用地内の諸施設は報告書一八・一九頁を参考に再検討を加え、四三年度を第一年度とし二・五ヶ年計画で村指導のもとに完成させたい。

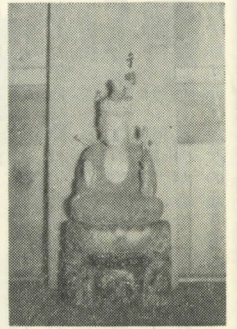
角野スキー場

四二年度は初心者向きまでに造成し以後五ヶ年計画で中級・上級者向、並に諸競技可能なまでに施設の整備拡充を計り、併せて冬季、夏季組合せて合理的な運営方針を確立する。

部落だより

伊月

部落の氏神、白山神社の御神体は左手に蓮を持ち右掌を正面に向け、そして十三の面を持たれた座像である。一見して蓮を持たれた御神体は仏を思わせ、そしてその御面相は仏のそれとは異なり、威厳に満ちた神の御面であつて、所謂神仏混淆時代の作ではないかと思われ。現存する棟札の文字を見ても同じ感じを受けるのであるが、筆者には全くその方の知識がないので、誰か解明して下さい方を紹介して戴きたいと存じます。棟札に書いてある年号が正徳二年おそらくこの年か、この近年が伊月(棟札の字は井月)が部落の体を為した年であらうと思はれます。移住してしまつた驚とは本家分家の関係にあると伝えられ、旧下穴馬村内ではこの両部落だけが岐阜県八幡町長敬寺の門徒であることが、この事を裏付けているように考えられます。古文書によれば約三百年の昔、郡上藩の領地であり、何時の時代か藩政に耐えかねて、ごうそ(強訴)、とうさん(逃散)を企てる者が続出したらしく、藩はこの取締りに厳罰を以て臨み、これを事前に訴えた者には銀百枚を褒美として取らせるといふもの等があり、宛名は庄屋、小百姓と書かれていた。現在の奥道が造られる以前、部落内は表通りであつた故もあり、耕地の等級は一二等が意外に多く、今に残る無縁の墓地跡等から見ても、少なくとも二十戸以上の戸数を構えて、それなりに繁栄した時代があつた事が偲ばれるしこれと符節を合せるように四郎左という長者が



十三面観音

あつたそうである。その屋敷はいまも水田になつてゐるが、二方に泉水を構え、その建坪は約八〇坪と推定される大きなもので、泉水も水田になつてゐるが、昔は田の中から鯉の骨が出るとかの話も聞かされてゐる。その生活ぶりもデラックスなものだつたらしく(伊月四郎左は算で計る朝日清兵衛は一合ます)といはれて「おごる平家は久しからず」といふ事になつてしまつたと伝えられてゐる。はじめに書いた氏神の棟札正徳二年のものに宮守原四郎兵衛とあるのがこの四郎左であらうと思われ

“こだま”

▲よそのぼた餅は大きく見える、と人間心理の妙を突いた軽妙な表現である。試みに石徹白郷を通りすがりに見よ如何にも理想の桃源境に映る、だが一たび村びとの内の一人となつて見ると村の外観(否町の外観と云う方が正しい)からは考えられない種々雑多な憤煙がアチコテにふき出ていることを知る、こゝ居を持てば寿命も伸びると見た目の如何に美的情緒に眩惑されたかがわかる、どうしても、たいいていの場合人は人のぼた餅式に見たがり、考えたがるのが人情の弱点とも言えよう。▲和泉村も今や鑑光の波に乗らんものと村自体も可成りの力を入れ、関係

人のうごき

(出生) (七月分)

- 伊勢 高橋ゆみ子 勝喜 三女
大谷 池尾 政治 政吉 二男
朝日 中山 正一 正治 長男
川合 中山富久子 悟 長女
上半原 長谷川 隆 紀 長男
上大納 武田 敏充 誠哉 長男
上大納 佐藤 実 弘 三男
(婚姻)
岩井 裕二 孝文 二男
○大分市大字里 河野洋子
板倉 川勝信孝
○足羽郡美山町 富田富士子
下山 中村 政男
(死亡)
○下半原 横山 きの 七九才

○ 話は裏を聞け

役場の窓

甘い汁を吸うなどと考えることは、この進展にブレーキをかけることになることは各人胆に銘じてほしい、矢張り乏しきを分ち、困難を共にし、団結を固めながらスクラムを組んでこそ難業も成し遂げられるというものが、利益を追及することは当然であるが、そのために泣く友の出来ぬよう切に望む。

役場事務分担

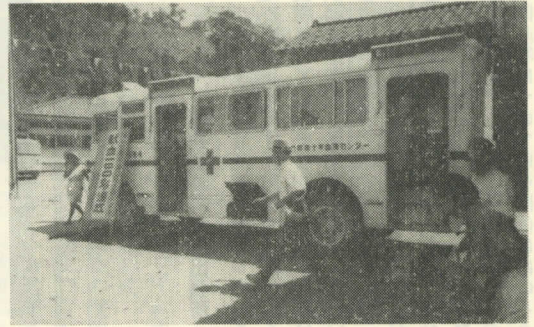
- 総務課
課長 水谷 亶 財政、行政、庶務
監査、議会
尾花 継男 選挙、庶務、広報
交通安全
三橋 武雄 統計、外国人登録
中村 邦典 消防、庶務
佐藤喜久江 会計
三野登喜尾 文書受付発送、全般補助
西 あきを 使丁
○産業観光課
課長 末永 彦治 農業土木、水道
電源開発
吉岡 和男 農業委員会、農業共済、選挙
山本 一郎 配給、統計、農業土木、水道補助
山田 溪司 観光
末永喜美代 全般補助
○住民課
課長 宮原 公夫 総括
三橋 清市 厚生、衛生
水谷 康子 戸籍住民登録、印鑑証明
下出 定幸 国民健康保険、診療所
○建設課
課長 加藤 謙治 設計監督
池尾 長久 設計監督
深谷 昌義 設計監督
表 一雄 全般補助
深谷 松蔵 道路手
田村美和子 庶務、全般補助
○出納室
新井 基衛 出納、共済
○議会事務局
局長 栗守俊太郎 議会、教育委員会
○教育委員会
教育長 徳本 庫吉
末永 秀一 社会教育、議会、教育委員会
○診療所
所長 平野 治 医師
平野まさえ 看護婦
谷口 典子 一般事務
○中蔵支所
支所長 山内 守人 総括
番屋 友吉 税務、会計
丸山きよ子 住民登録、配給
西出 金子 使丁
療所

◇ 献 血 ◇

八月七日、八日の両日、採血車「いぶき号」が巡回してきました。
 申込者は、朝日附近と中竜で九十二名でしたが、検査の結果採血したのは八十三名で、目標に七名不足しました。
 近年交通事故の激増等によって、血液の需要が増大したが、一時集めの間に合わせではどうにもならないのと、売血による弊害を考慮して、各都道府県の赤十字に「血液センター」ができ巡回車による計画的な採血が行われるようになったものです。

私共は、何等かの形で社会に奉仕し恩恵を受けておりますが、生命を保持するうえに一番大切な血を供給することによって、尊い人の命が救われるならば、立派な奉仕をしたことになりま

す。
 「献血」は人のためでもあり、自分のためでもあります。もし不幸にして自分自身が事故にあい血を必要とする



場合、「献血」手帳の提供によって優先的に供給を受けられますので、今後採血車が巡回してまいりますので、今後でも多く「献血」していただきたいと思います。

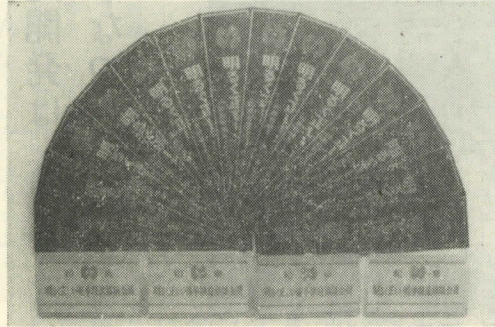
② 明るく正しい選挙

地区推せん

和泉村明るく正しい選挙推進協議会

選挙のあるごとに、明るく正しい選挙推進運動のうらには、いくつかの違反が新聞、テレビ等で知らされている。又地区推せん等についても、色々と問題になっている。

地区推せんとは、一つの地区を単位として候補者の当選を期せんとするもので、その推せんが、正しい方法によらずその過程において違反する場合は多く、又推せんの行過ぎから、地区の



入口に張り番をたてるなどの方法によつて、選挙運動の自由を束縛し、立候補の自由をさまたげるなど、いくつかの弊害を伴なっている。しかし、こうした地区推せんは、長い間根強い社会的因習のために、これを改めようとするには、強い忍耐と地区民一人一人の自覚が肝要である。政治への関心と責任をもつて、明るく正しい選挙で、明るく住みよい社会を築きあげていこう

和泉村明るく正しい選挙推進協議会では、末端に対する選挙への関心と自覚の浸透をはかるため、婦人、青年を主軸に、推進協力員を委嘱することになりました。協力員へのステッカーも出来上り、本年は二百名を目標に準備をいそいでおります。
 (写真は、配布予定のステッカー)

献杯禁止運動について

全国衛生組織連合会においては、生活改善運動の一環として「献杯禁止運動」を全国的に展開することになり「献杯禁止パッチ」を酒席では進んでつけ「杯のやりとりはやめましょう」と一般住民に周知徹底することになりました。

この運動の目的は、伝染病及び成人病の予防、自動車事故の防止などと共に、経済的な効果も狙った中広い意味を持つものです。

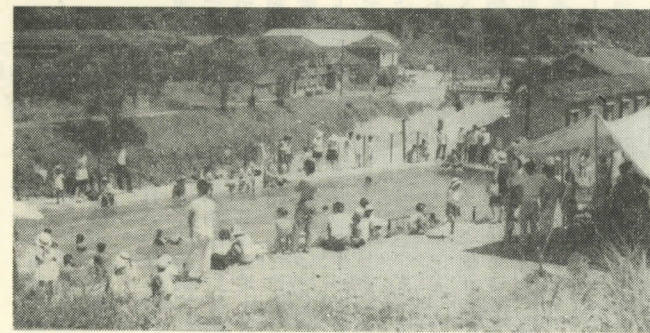
およそ洋の東西と人種の如何を問わず、人の存するところ、必ず酒ありといつても過言ではない程、人と酒の縁は深く、その話題も豊富ならば功罪もまた尽きることを知りません。

人間生活にこれ程深い関係のある酒ではあるが、その飲み方について、外国では「杯のやりとり」の習慣はないと聞いていますので、これは日本だけのものかも知れません。
 この習慣は、どう考えても良いところはあまりないので、「禁止運動」については、右党は勿論、左党といえども良識ある人達は大いに賛同していただきこの運動に全幅の御協力をお願いしたいと思います。

季節の話題

大納校の水泳大会

去る八月六日(日)午前十時より、大納小中学校PTA主催の水泳大会が炎天下の大納プールで開催された。



(大納プールにおける水泳大会の様相)

参加者は約五十人で小学一年から中学三年までの競泳、リレー、水球などの競技が行われ、参加者全員と入賞者にそれぞれ賞品が贈られた。
 炎天下にもかかわらずつめかけた観衆約二百人が終始なごやかな雰囲気の中で、わが子の健闘を楽しんでいた。

源泉所得事務の一部を徴収課へ移管

本年七月一日から、源泉所得事務の一部が徴収課へ移管されました。

- 一、徴収高計算書の收受事務
- 二、未納徴収義務者に対する書面(実地)催告事務
- 三、未納徴収義務者に対する徴収決定事務
- 四、納付についての指導監査事務
- 五、納期の特例等承認証明に関する事務
- 六、災害被災者に対する徴収猶予および還付事務
- 七、諸用紙の配付等

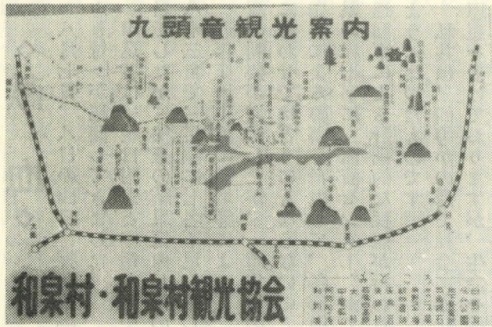
したがって、今後はこれらの事務についての照会や問合せは、税務署の徴収課へ、その他の事務は従来どおり、直税課へお願いします。

大野 税務署

あとがき

一、暑い暑いといっているうちに、涼風がほほをなでるところとなり、いためつけられていた胃腸も次第に回復してきます。これからたくさん出廻るくだもの、野菜をたっぷりとり、体力を充実さよう。
 一、長い夏休みも終わりましたが、休み明けの子供の生活をよく観察しておこう。

○ 友は類をもつて集まる



国鉄バス朝日駅前広場に設置された観光案内

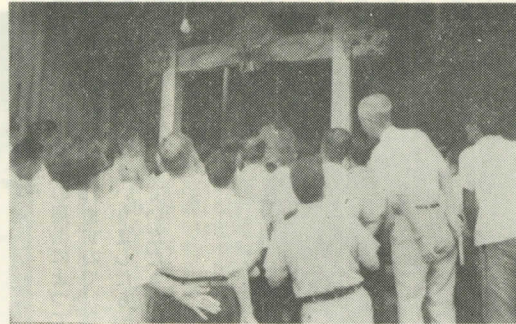


当村の観光開発は 今、こうなっている

産業観光課

途中経過は省略して結果のみ簡条書にする、

- 四・一 観光協会創立発起人会
- 四・二七 同前創立総会(会員一三三)
- 五・一二 県立工芸指導所長以下、外二名を招き郷土特産品の開発指導会
- 五・一八 名鉄係員三名、九頭竜観光開発調査に来村
- 五・二九 国鉄バス大野営業所長、助役外一名、秋季観光バス定期運行打合せ
- 六・二〇 観光案内板三基、白馬洞、大垂滝案内板、その他道標発注
- 六・二七 第一次観光類似地域視察(いかりダムの湖利用)
- 六・三〇 白馬洞、大垂案内板建設



観光バス試乗会(熊野神社にて)

- 七・一 夫婦杉、天狗岩手入完了
- 七・四 第二次観光類似地域視察(奥能登「六水中心」)
- 七・六 九頭竜観光の解説印行
- 七・一五 観光土産品展示会(商工会)
- 七・一七 白馬洞整備工事大体完了
- 大垂滝登山道路工完了
- 七・三〇 村内観光案内板朝日駅前建立
- 八・二 公衆便所新設中(朝日駅裏)今後の予定 この公衆入手頃には確定と見込まれる事項
- 1 観光パンフレットの村外配布
- 2 八月一〇日 秋季定期観光バス試乗会(報道関係者、県会議員、福井を中心とする国鉄駅長、村関係者)
- 3 九月一〇日 定期国鉄観光バス開通式(於大野国鉄駅前)以降日曜、祭日毎に運行予定(大休朝日に二時間休憩予定)

職場だより 登記について

福井法務局和泉出張所

土地や家屋の登記事務を扱っているために、一般には登記所の名称が広く使用されておりますが、正しい名称は「福井地方務局和泉出張所」といいます。

出張所での主な仕事の一つに登記があり、登記は、一定の事項を広く社会に公示するために、これを公開する登記簿に記載することであり、一つの財産等について取引関係にはいろいろ

とする第三者を不測の損害から守り、取引の安全を保持しようとする重要な制度であります。

登記には、不動産登記、商業登記などがあり、中でも広く行われているのが、不動産登記であります。

例えば、あなたが、ある人から土地や家屋を取得した場合、売却した相手方との間に、はつきりした契約等がなされていても、登記をしなければ、第三者に対抗することができません。又土地や、家屋について次のような変更を生じた場合においても、すみやかに申告して下さい。

一、土地に変更を生じた場合

私の希望

道路補修

村議の顔として毎月「いずみ」に発表されている各議員さんの抱負については、明るい希望と期待をもつて読んでおります。特に農林振興、地下資源観光の三大開発を基礎にした村造りは重要であり、やがては健全な村政のもとに安定したダム完成後の生活となつて現われてくるものと期待しております。こうした開発に対して、まず考えねばならないのが、大動脈ともいえる道路の整備であります。何年後かは知りませんが、大野朝日間の舗装が計画されており、また越美線の延長も着々進行しつつあるようであります。しかし現段階における道路管理はどうであろう。付替道路のトンネルをはじめ、いたる所の大穴は、三大開発に大きな支障をきたらしてはしらないだろうか。

社会を明るくする運動

去る八月七日、福井保護観察所長、大野地区の保護司、当地の学校及び業者代表など多数集まつて「社会を明るくする運動」の懇談会が開催されました。

近年青少年の不良化、犯罪、事故など、激増の一途をたどり、由々しい社会問題として、マスコミを始め関係者一同躍起となつていますが、残念ながら減る傾向がないのが現状です。

私共は社会の連帯感を強く意識してそれぞれの地域、職場、家庭における、このむづかしい問題と正面から取り組む勇気をもつて、少しでも明るい社会をつくることに工夫と努力を惜しんではならないと思ひます。

○ 礼儀は下から慈悲は上から